

## 第4回定例会一般質問項目

平成25年8月28日(水)

午前9:00～

質問 順番	議員名	項 目
1	船渡 洋子 (一問一答)	1 防災対策について (1) 災害時要援護者の避難対策について (2) 災害時の備蓄品として、ベッドやトイレとしても活用できる段ボール製品を備えることについて (3) 災害時の安全な避難誘導のために、保育園、幼稚園、小・中学校にヘルメットか防災ずきんを配備することについて (4) 消防バイクの配備について 2 子どもの命を守るための「子ども安心カード」の導入について 3 本巢市特産の富有柿栽培農家が高齢化や後継者がいないなどの理由により、栽培をやめられていくことに対する対策及び今後の展望について
2	臼井 悦子 (一問一答)	1 市の文化財について (1) 現在、市における文化財のうち、指定樹木の実態は (2) 市として、文化財を見直す予定は (3) 今後の管理体制は 2 防災意識の高揚と被災地への支援について (1) 市として、各地域の防災に関する啓発はどのように進めていますか (2) 被災地への支援は (3) 意識の高揚と対策の手段は
3	高田 文一 (一問一答)	1 本巢保育園及び西保育園の跡地利用計画について (1) 両施設跡地の活用計画は (2) 借地についての次年度以降の考え方は (3) 取り壊しの予算化は 2 職員管理での健康づくりについて (1) メンタルヘルスの研修は (2) 「心の病」の早期対策は
4	若原 敏郎 (一問一答)	1 山西省青少年友好交流について (1) 今年度の事業内容は (2) 来年度は訪中に向けて進めるのか (3) 中国との交流は一時中止してはどうか 2 マイマイガの被害・防除について (1) 本巢市の被害・実態は (2) 学校周辺は駆除が必要と考えるが

質問 順番	議員名	項目
5	鶴飼 静雄 (一問一答)	1 要介護認定者の障害者控除について (1) 本巢市の制度の概要は (2) この制度の利用状況は (3) 該当者への周知方法は。また、その改善は 2 保育所最低基準の明確化について 保育園、または幼稚園・幼児園の設備や運営に関する基準を明確化しては どうか 3 総合的な市民生活相談体制の確立について (1) 市における相談状況は (2) 各部署が一体となった相談・支援体制が必要では
6	江崎 達己 (一括方式)	1 ふるさと納税制度について (1) ふるさと納税制度に対する本市の考えは (2) ふるさと納税制度発足時から本市における各年度ごとの状況（実績）は (3) どのようなPR等対応がなされてきたのか (4) 取り組みに対する問題点はあるのかどうか (5) 今後の対応・対策を含め、今後の方針は

質問 順番	議員名	項目
1	鏑本 規之 (一問一答)	<p>1 須合橋の件について</p> <p>(1) 前回の質問において、国土交通省や岐阜県の業務契約約款に基づき、設計業務及び工事の修補を委託したとの回答でしたが、業務委託契約約款についての説明を求める</p> <p>(2) 業務契約約款の瑕疵担保第40条には、発注者は成果物の引渡しを受けた後においてと書かれているが、発注者とは当然市になり、市はユニオン社と設計に関する契約をし、橋台の建築契約は黒川工務店とされていますので、ここに書かれている成果物とは設計図を指すのではないか</p> <p>(3) 第40条には、修補とともに損害の賠償を請求できると記載されているが、これは設計ミスにより市民(市)が受けた損害の請求権が記載されているのではないか</p> <p>(4) 第40条第4項には、成果物の瑕疵が設計図書により生じたものであるときは適用しないと記載されているが、このときの成果物とは橋台を指しているのではないか</p> <p>(5) 前回の質問で、市長は損害賠償請求は考えていないとの回答でしたが、今も考えに変わりはないか</p> <p>(6) 万が一、5年先、10年先に橋台が原因で何らかのトラブルが起き、市民が怪我をされたり、橋の修理等を行うような事態が起きたときは、誰が責任を負うのか。また、修理代金、賠償等は何をもってするのか</p> <p>(7) 市が委託をした設計会社ユニオンから届けられた橋台の設計図に間違いがあったが、市はその間違いを見つけことができず、建設業者(黒川工務店)に設計ミスのままの橋台を造らせた責任はどこにあるのか</p> <p>(8) 設計会社から届けられた設計図が、依頼通りのものであるかの確認はどのようにされているのか</p> <p>(9) プロに設計図の確認をさせていると思うが、どうして発見できなかったのか。何が原因なのか</p> <p>(10) 設計ミスをした設計業者が行う橋台修補工事の監視及び検査はどのように行われたのか</p> <p>(11) 市は設計ミスをした会社に修補に係る設計図と修補工事を委託したが、設計ミスをした会社が修補工事に伴う代金を全額支払うとなれば、安くできないかと考えるのが経営者である。安全性について、修補ではなく、全面やり直し工事をユニオン社にさせなかった理由は</p> <p>(12) 役に立たない橋台を建設業者に委託し、造らせた責任と新品に近いモノ・キズモノの須合橋を造らせた責任は誰にあるのか</p>
2	黒田 芳弘 (一問一答)	<p>1 住宅リフォーム助成事業の効果検証と事業拡大について</p> <p>(1) 利用状況の詳細(工事費別の件数、施工者の状況、工事費のチェック、周知方法など)や近隣自治体の状況は</p> <p>(2) 地域経済の活性化効果についての検証は</p> <p>(3) この事業で確かな効果が実証されたとするなら、他業種にまで同様の助成事業を拡大する考えは</p> <p>2 高速道路開通に対応する観光振興について</p> <p>(1) B級グルメなどの食べ物やおみやげの目玉商品開発への取り組みは</p> <p>(2) マスコットキャラクター「もとまる」デザインのグッズなど、商品化の流れや状況は</p> <p>(3) 都市部でのアンテナショップ運営など、本市の知名度アップに向けたPR作戦は</p> <p>(4) 糸貫ICから誘客する新たな観光資源の開発や戦略は</p> <p>(5) チャンスを確実に捉えるため、行政、商工会、観光協会、民間企業が連携した機能する組織の再構築が必要と考えるが</p>